

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL <a href="http://www.kissei.co.jp/">http://www.kissei.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

### 【お知らせ】

#### ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

# 第 68 期 報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)



盛夏の展望・酒沢岳から北穂高岳と槍ヶ岳

# 目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト（連結・個別）	P 3~4
事業の概況（連結）	P 5~6
研究開発の状況	P 7
トピックス	P 8
財務諸表（連結）	P 9~10
財務諸表（個別）	P 11
製商品の紹介	P 12
株式の状況	P 13
会社の概要	P 14



橘の花

## 「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である“橘”を冠した株式会社橘生化学研究所としてスタートしました。翌年橘生薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第68期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の事業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の世界経済は上期においては、欧州経済の景気後退及び中国やインドなどの新興国の成長鈍化により景気減速感が強まり、わが国経済は為替の歴史的な円高傾向が続くとともに世界経済減速の影響を受け、更に株式市況の低迷等による企業業績悪化懸念から不安定な状況で推移しました。下期においては、第二次安倍内閣によるアベノミクスと呼ばれる大胆な金融緩和などの経済政策、米国の景気回復期待などにより円安が進み企業業績回復期待が高まり、株式市況が上昇するなど景気回復への兆しが見られてきました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年4月には薬価改定が実施されるなど引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。このような情勢の中、医薬品事業につきましては新製品の腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」、糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」の売上増、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ®」の売上増及び輸出売上増がありました一方で、薬価基準引下げの影響やパーキンソン病治療薬「カバサル®錠」の販売契約終了、また、その他の事業の売上減もあり売上高は前連結会計年度比3.3%減となりました。営業利益は売上原価率の低下や販売費及び一般管理費の減少により前連結会計年度比4.0%増、経常利益は前連結会計年度比6.3%増となり、投資有価証券評価損の計上がありましたものの、当期純利益は前連結会計年度比5.2%増となりました。

研究開発につきましては、将来の成長のため引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。当期におきましては、速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト®錠」のDPP-4阻害剤及びビッグアニド系薬剤との併用療法の効能追加の承認申請に続き、アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤静脈内投与による血管外漏出治療薬デクスラゾキサソ（一般名）の承認申請を行いました。また、透析時高リン血症治療薬のPA21につきましては第Ⅲ相臨床試験に着手いたしております。

当期をもって「コアビジネスの拡大と発展、そして妥協なき変革」をスローガンとした中期3ヵ年経営計画「CORE3」の第2年度が終了いたしました。今後も引き続き厳しい経営環境が予想されますが、今期の計画完遂に向け全社一丸となり邁進してまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月



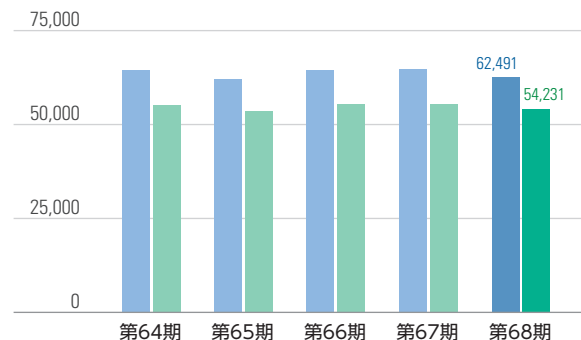
代表取締役社長 神津陸雄



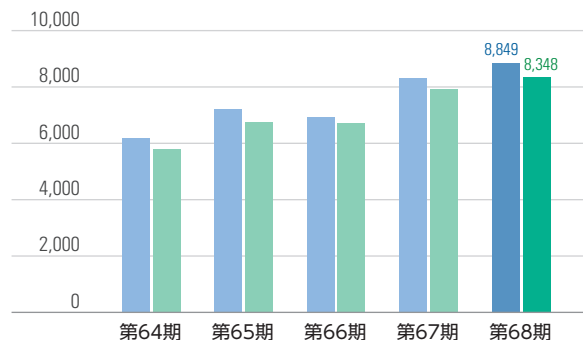
# 業績ハイライト (連結・個別)

■ 連結 ■ 個別

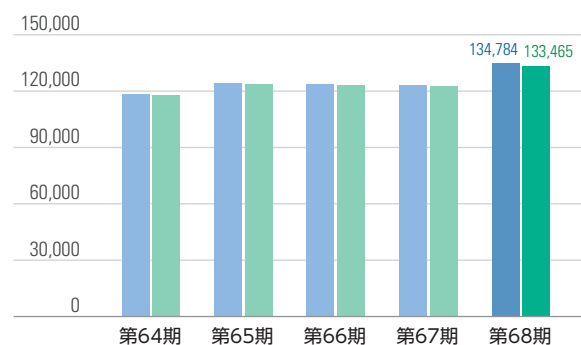
## ●売上高 (百万円)



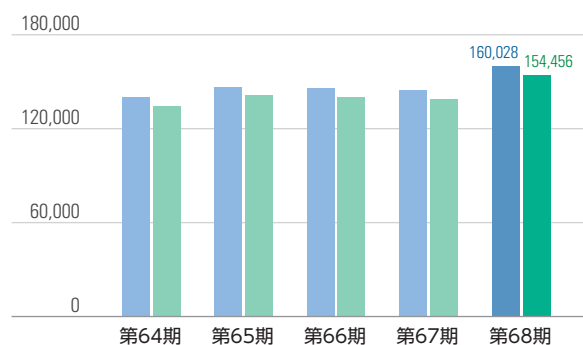
## ●経常利益 (百万円)



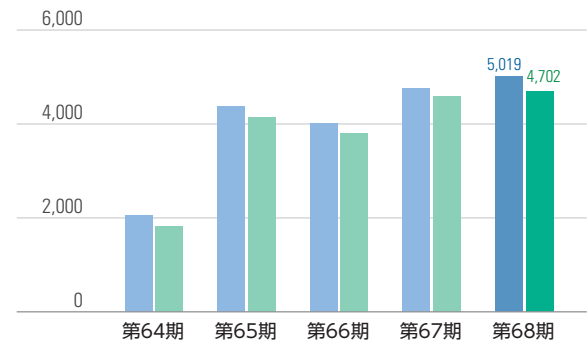
## ●純資産額 (百万円)



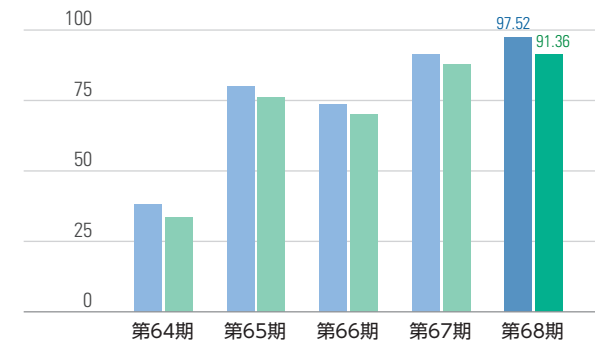
## ●総資産額 (百万円)



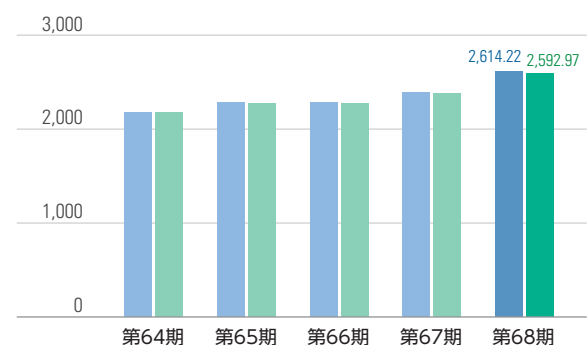
## ●当期純利益 (百万円)



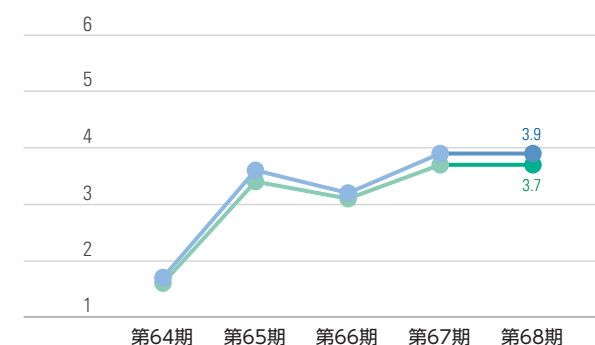
## ●1株当たり当期純利益 (円)



## ●1株当たり純資産額 (円)



## ●自己資本当期純利益率(ROE) (%)



連結		第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
売上高	(百万円)	64,535	62,178	64,393	64,618	62,491
経常利益	(百万円)	6,174	7,221	6,936	8,326	8,849
当期純利益	(百万円)	2,061	4,371	4,004	4,769	5,019
純資産額	(百万円)	118,415	124,221	123,932	123,385	134,784
総資産額	(百万円)	140,181	147,022	146,248	144,385	160,028
1株当たり当期純利益	(円)	37.98	80.52	73.78	91.35	97.52
1株当たり純資産額	(円)	2,177.96	2,285.37	2,280.04	2,393.17	2,614.22
自己資本比率	(%)	84.4	84.4	84.6	85.3	84.1
自己資本当期純利益率	(%)	1.7	3.6	3.2	3.9	3.9

個別		第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
売上高	(百万円)	55,295	53,709	55,356	55,502	54,231
経常利益	(百万円)	5,777	6,759	6,724	7,940	8,348
当期純利益	(百万円)	1,829	4,141	3,806	4,593	4,702
純資産額	(百万円)	118,086	123,642	123,151	122,410	133,465
総資産額	(百万円)	134,514	141,533	140,121	138,981	154,456
1株当たり当期純利益	(円)	33.71	76.30	70.13	87.97	91.36
1株当たり純資産額	(円)	2,174.96	2,278.06	2,269.08	2,378.15	2,592.97
自己資本比率	(%)	87.8	87.4	87.9	88.1	86.4
自己資本当期純利益率	(%)	1.6	3.4	3.1	3.7	3.7
資本金	(百万円)	24,356	24,356	24,356	24,356	24,356
発行済株式総数	(株)	56,911,185	56,911,185	56,911,185	56,911,185	56,911,185
1株当たり配当金	(円)	30	32	34	36	38

(うち記念配当: 2)

## 事業の概況（連結）

### 当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、欧州債務問題を背景とした欧州経済の失速や新興諸国経済の成長鈍化の影響などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しましたが、後半には経済政策への期待感から円高の是正や株価の上昇など、景気回復への兆しも見られてきました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行的導入が継続される一方で、長期収載医薬品の追加引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、景気を持ち直し感が出始める一方で、企業におけるIT投資及び設備投資への慎重な姿勢や個人消費の伸び悩みなど、内需の停滞を背景に依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	増減率 (%)
売上高(百万円)	64,618	62,491	△3.3
営業利益(百万円)	7,465	7,761	4.0
経常利益(百万円)	8,326	8,849	6.3
当期純利益(百万円)	4,769	5,019	5.2

医薬品事業の売上高は、542億3千1百万円（前連結会計年度比2.3%減）となりました。腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注]CR」、糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。昨年4月に実施されました薬価基準引下げの影響や、ファイザー株式会社が製造し当社が販売しておりましたパーキンソン病治療薬「カバサル®錠」の昨年4月からの同社への販売移管などにより減収となりました。また、欧州における前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ®」）の技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、平成22年6月にドイツで発売して以降、当連結会計年度におきましても引き続き欧州各国において発売ならびに発売に向けた準備を進めておりますことなどから、輸出売上高は順調に増加しております。

その他の事業の売上高は、82億5千9百万円（前連結会計年度比9.4%減）となりました。情報サービス業で増収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして減収となりました。

利益面では、減収による減益要因がありましたものの、医薬品事業、その他の事業の両事業における売上原価率の低下、販売費を主とした販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は増益となりました。

研究開発の状況につきましては、昨年12月に速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト®錠」につきましてDPP-4阻害剤及びビグアナイド系薬剤との併用療法を効能追加する承認申請を、本年1月にはアントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤血管外漏出治療薬デクスラゾキサン（一般名、開発番号KDX-0811）の承認申請をそれぞれ行いましたほか、各テーマにつきましても研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。

### 次期の見通し

国内医薬品市場におきましては、後発品使用促進策をはじめとする医療費抑制策が強力に推進され、引き続き厳しい経営環境下にあります。

その他の事業におきましても、景気を持ち直し感が出始めてはいるものの、内需の停滞を背景に厳しい業界環境が継続するものと予想されます。

このような情勢の中で当グループは、グループ各社のシナジー創出によりグループ経営基盤を強化するとともに、これまでの研究開発などへの投資の成果を結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。

現時点での平成26年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

連結業績見通し

	平成26年3月期見通し	平成25年3月期実績	対前期増減額	増減率 (%)
売上高(百万円)	63,400	62,491	909	1.5
営業利益(百万円)	7,900	7,761	139	1.8
経常利益(百万円)	8,850	8,849	1	0.0
当期純利益(百万円)	5,900	5,019	881	17.6

#### ・売上高

医薬品事業におきましては、引き続きユリーフ、グルベス及びエポエチンアルファBSなどの育成を図り増収の計画です。その他の事業におきましては、不透明な経営環境を背景に減収を見込んでおります。

#### ・利益

医薬品事業におきましては、引き続き積極的に研究開発費や製品育成のための経費を投入いたしますが、増収と売上原価率の低下による売上総利益の増益により、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ増益を見込んでおります。その他の事業におきましては、減収による減益を見込んでおります。なお、営業外損益ならびに特別損益におきましては特別なものは見込んでおりません。

### 対処すべき課題

製薬業界を取り巻く経営環境は激変の最中にあります。日米欧における医療用医薬品市場においては、経済の低迷と医療費の増大に対して薬剤費抑制策が推し進められ、市場競争が激化している一方、中国、インドをはじめとする新興市場では医療アクセスの改善などにより、急速な成長が見込まれています。また、新薬シーズの枯渇、研究開発から承認に至る規則の厳格化などにより新薬開発競争はますます熾烈化を極めております。

このような経営環境下において、存在価値・意義のある創薬研究開発型企業として更なる成長のステージに進むべく、①国内市場における確固たるマーケティング基盤の構築、②グローバル市場への進出と拡大、③新薬創出と開発の加速、④会社機能の強化・補完、効率化のための戦略的なアライアンスの推進、⑤グループ各社の事業構造改革とシナジー創出によるグループ経営基盤の強化、を対処すべき課題として認識し、取り組んでまいります。

## 研究開発の状況

経営ビジョンである「世界の人の健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創業研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発におけるコア領域を定め、積極的に研究開発投資を行うことにより、新薬創出と開発の加速を図っております。また、グローバル市場への進出と拡大を目指し、創製品の技術導出による国際展開を推進しております。

### ●自社

(平成25年5月現在)

開発段階	製品名／一般名／開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	グルファスト®／ミチグリニド	創製品	2型糖尿病 (DPP-4阻害剤、ビグアナイド系薬剤との併用療法)	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
	デクスラゾキサン／KDX-0811	導入品／ノルジーン (オランダ)	アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出	トポイソメラーゼII阻害作用	
申請準備中	サラジェン®／ピロカルピン	自社開発	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	剤形追加 (顆粒剤)
第Ⅲ相	PA21	導入品／ピフォファーマ (スイス)	透析時高リン血症	リン吸着作用	
第Ⅱ相	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン (TRH) 作用	
	オザグレル／KCT-0809	創製品／テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	ユリーフ®／シロドシン	創製品	尿路結石症	α1A受容体拮抗作用	効能追加
第Ⅰ／Ⅱ相	KWA-0711	創製品	慢性便秘症	消化管における水吸収抑制作用	
	YS110	導入品／ワイズ・エー・シー、東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域：フランス
第Ⅰ相	KUX-1151	創製品	痛風、高尿酸血症	尿酸生成抑制・排泄促進作用	
	エポエチナルファBS注「JCR」／JR-013sc	導入品／日本ケミカルリサーチ共同開発	腎性貧血、自己血貯血	赤血球増加作用	バイオ後続品 高単位製剤
	ユリーフ®／シロドシン	創製品／第一三共共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用	剤形追加 (OD錠)

### ●導出

(平成25年5月現在)

開発段階	一般名／開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ (日本)	アセアン <sup>※1</sup>	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (sildenafil)		アセアン <sup>※2</sup> 、インド <sup>※2</sup> 、スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
申請準備中	ミチグリニド (mitiglinide)	USV (インド)	インド	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β2受容体刺激作用
第Ⅰ相	KGA-3235	グラクソ・スミスクライン (イギリス)	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病	小腸における糖吸収抑制作用
	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2受容体刺激作用

※1：発売：タイ、承認：フィリピン、申請中：4ヵ国

※2：申請中：アセアン3ヵ国、インド

## トピックス

### 承認申請

当社では、アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の静脈内投与時の血管外漏出による組織障害を治療する薬剤「デクスラゾキサン」(一般名)について、本年1月に製造販売承認申請を行いました。

悪性腫瘍の患者さんは、化学療法により血管がもろくなったり外科手術後にリンパ浮腫などの循環障害が生じたりして、血管外漏出が起きやすい状態にあります。抗悪性腫瘍剤が血管外に漏れると周囲の組織に障害を起し、発赤、腫れ、痛みが生じ、局所の炎症の進行により壊死に至ることもあります。

本剤は、厚生労働省が設置した「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において医療上の必要性が高い薬剤と評価されましたが、国内に開発要請先として適切な企業が存在しないことから開発企業の募集が行われた薬剤のひとつです。

当社は、「純良医薬品を通じて社会に貢献する」との経営理念のもと、未承認薬である本剤の開発に取り組んでまいりました。本剤の承認を取得、発売することにより未承認状況を解消し、患者さんへ早期に提供することを目指します。

### 新発売

当社は腎臓病などで低たんぱく食事療法を行っている方向けのたんぱく質調整食品として、ごはんや惣菜などの「ゆめシリーズ」、冷凍おかずセット・冷凍弁当の「ゆめの食卓シリーズ」及びめん類を中心とした「げんたシリーズ」を開発・販売しております。

昨年10月に「げんた冷凍めん うどん風」を新発売いたしました。本品は、小麦粉を使わずでんぷんを主原料とすることで、低たんぱく・高カロリーを実現しました。また、食塩無添加でめん類で気になる食塩相当量を0.03gに抑え、塩分を控えている方にもご利用いただきやすい製品に仕上げております。お湯で1分半ゆでるだけで、本格うどんのようなコシと喉ごしをお楽しみいただけます。

近年、冷凍食品は簡単に調理できるうえ保存性にも優れていることから、生産食数が増加しています。今回、冷凍めんの中で生産食数が最も多いうどんを品揃えに加えることで、低たんぱく食事療法を行っている方の食生活により幅広くお役立ていただけるものと考えております。

### お問い合わせ先

ヘルスケア事業部お客様相談センター

フリーダイヤル：0120-515-260 (受付：平日9:00~17:00)



(げんた冷凍めん うどん風)



# 財務諸表 (連結)

## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	期 別	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)
科 目			科 目		
(資産の部)			(負債の部)		
流 動 資 産	86,788	92,262	流 動 負 債	14,662	15,577
現金及び預金	19,234	23,937	支払手形及び買掛金	4,499	4,882
受取手形及び売掛金	26,059	25,005	短期借入金	2,101	2,001
有価証券	26,600	27,344	未払法人税等	1,722	1,992
商品及び製品	5,115	5,197	賞与引当金	2,015	2,153
仕掛品	558	355	役員賞与引当金	23	22
原材料及び貯蔵品	4,289	5,570	返品調整引当金	17	14
繰延税金資産	2,005	2,030	売上割戻引当金	447	363
その他	2,927	2,824	販売費引当金	224	179
貸倒引当金	△2	△2	その他	3,609	3,967
固 定 資 産	57,596	67,765	固 定 負 債	6,337	9,666
有形固定資産	26,804	26,527	長期借入金	1,547	1,525
建物及び構築物	11,177	10,610	繰延税金負債	-	3,100
土地	13,191	13,190	退職給付引当金	3,990	4,199
建設仮勘定	40	552	役員退職慰労引当金	130	119
その他	2,394	2,173	資産除去債務	99	101
無形固定資産	953	818	その他	569	619
投資その他の資産	29,838	40,419	負 債 合 計	20,999	25,244
投資有価証券	26,394	38,091	(純資産の部)		
長期貸付金	137	122	株 主 資 本	120,647	123,761
長期前払費用	732	668	資 本 金	24,356	24,356
繰延税金資産	1,465	423	資 本 剰 余 金	24,254	24,254
その他	1,162	1,163	利 益 剰 余 金	80,716	83,832
貸倒引当金	△53	△49	自 己 株 式	△8,680	△8,681
資 産 合 計	144,385	160,028	その他の包括利益累計額	2,536	10,797
			その他有価証券評価差額金	2,536	10,797
			その他の包括利益累計額合計	202	225
			純 資 産 合 計	123,385	134,784
			負 債 純 資 産 合 計	144,385	160,028

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別	前連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
科 目		
売 上 高	64,618	62,491
売 上 原 価	22,848	21,143
売 上 総 利 益	41,770	41,348
販売費及び一般管理費	34,305	33,586
営 業 利 益	7,465	7,761
営 業 外 収 益	964	1,148
営 業 外 費 用	103	60
経 常 利 益	8,326	8,849
特 別 利 益	77	0
特 別 損 失	329	857
税金等調整前当期純利益	8,074	7,992
法人税、住民税及び事業税	2,514	3,127
法人税等調整額	773	△176
少数株主損益調整前当期純利益	4,786	5,042
少 数 株 主 利 益	16	22
当 期 純 利 益	4,769	5,019

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括 利益累計額合計		
平成24年4月1日期首残高	24,356	24,254	80,716	△8,680	120,647	2,536	2,536	202	123,385
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当	-	-	△1,904	-	△1,904	-	-	-	△1,904
当期純利益	-	-	5,019	-	5,019	-	-	-	5,019
自己株式の取得	-	-	-	△1	△1	-	-	-	△1
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	8,261	8,261	22	8,284
連結会計年度中の変動額合計	-	-	3,115	△1	△3,113	8,261	8,261	22	11,398
平成25年3月31日期末残高	24,356	24,254	83,832	△8,681	123,761	10,797	10,797	225	134,784

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別	前連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
科 目		
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,046	9,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,776	△2,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,649	△2,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	4
現金及び現金同等物の増減額	△4,379	5,177
現金及び現金同等物の期首残高	50,153	45,773
現金及び現金同等物の期末残高	45,773	50,951

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 財務諸表（個別）

### ●貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度 (平成24年3月31日現在)	当事業年度 (平成25年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		82,647	87,862
固定資産		56,333	66,593
有形固定資産		25,719	25,675
無形固定資産		882	763
投資その他の資産		29,731	40,154
資産合計		138,981	154,456
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		11,048	12,141
固定負債		5,522	8,849
負債合計		16,570	20,990
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本		119,874	122,670
資本金		24,356	24,356
資本剰余金		24,254	24,254
利益剰余金		79,943	82,741
自己株式		△8,680	△8,681
評価・換算差額等		2,535	10,794
純資産合計		122,410	133,465
負債純資産合計		138,981	154,456

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ●損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	当事業年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売上高		55,502	54,231
売上原価		15,749	15,117
売上総利益		39,753	39,114
販売費及び一般管理費		32,704	31,877
営業利益		7,049	7,236
営業外収益		1,070	1,255
営業外費用		179	143
経常利益		7,940	8,348
特別利益		77	0
特別損失		320	856
税引前当期純利益		7,697	7,492
法人税、住民税及び事業税		2,310	2,900
法人税等調整額		793	△110
当期純利益		4,593	4,702

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ●株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成24年4月1日期首残高	24,356	24,254	79,943	△8,680	119,874	2,535	2,535	122,410
事業年度中の変動額								
剰余金の配当	-	-	△1,904	-	△1,904	-	-	△1,904
当期純利益	-	-	4,702	-	4,702	-	-	4,702
自己株式の取得	-	-	-	△1	△1	-	-	△1
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	8,258	8,258	8,258
事業年度中の変動額合計	-	-	2,797	△1	2,796	8,258	8,258	11,054
平成25年3月31日期末残高	24,356	24,254	82,741	△8,681	122,670	10,794	10,794	133,465

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 製商品の紹介

### ●主な医療用医薬品

<b>その他代謝用薬</b>	グルファスト錠 グルベス配合錠 エポエチンアルファBS注JCR	糖尿病治療薬 糖尿病治療薬 腎性貧血治療薬
<b>感覚器官用薬</b>	リザベン点眼液 リズモンTG点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬 緑内障・高眼圧症治療薬
<b>循環器官用薬</b>	ベザトールSR錠 キサンボン注	高脂血症治療薬 脳循環改善薬
<b>消化器官用薬</b>	サラジェン錠 ガスコン アラント	口腔乾燥症状改善薬 消化管内ガス駆除薬 胃・十二指腸潰瘍治療薬
<b>ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬</b>	ユリーフ錠 ウテメリン フラグミン静注 ゾラデックス1.8mgデポ フルスタン錠	排尿障害改善薬 切迫流・早産治療薬 血液凝固阻止剤 子宮内膜症治療薬 活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤
<b>アレルギー用薬</b>	リザベン ドメナン錠	アレルギー性疾患治療薬 気管支喘息治療薬

### ●主なヘルスケア食品

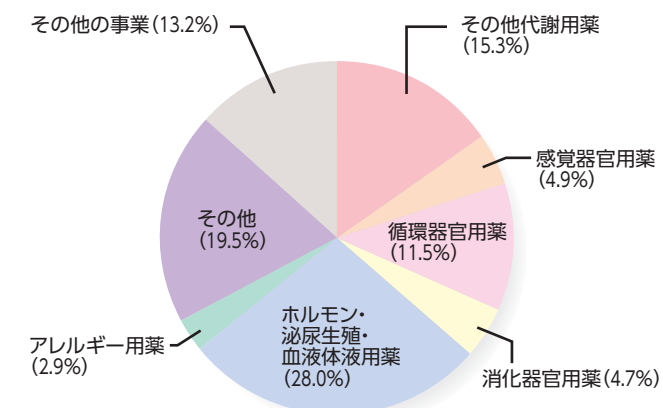
#### 介護・高齢者向け食品

新スルーキング i・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーパートナー・・・液状食品やミキサー食を見た目においしそうに食べやすいゼリー食にできる介護食調整用食品です。いろいろな食品を風味や色を変えずに固めることができ、冷たいままでも温めてもおいしく召し上がれます。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。調理済みのため加熱の必要はなく、開けてそのまま召し上がれます。いとより鯛、かに風味、ほたて風味、いわし、うなぎ、ポークしょうが焼があり、たんぱく質7gのぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。また栄養強化タイプとして、カレー風味、ビーフシチュー風味、エビチリ風味の3種類があります。

### ●連結売上高比率 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)



#### エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できるゼリーです。味の種類は、オレンジ、ウメ、カリン、マスカット、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召し上がれるビスキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

#### たんぱく質調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしいパック入りごはんです。温めるだけで手軽に召し上がれます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしい乾麺です。

# 株式の状況

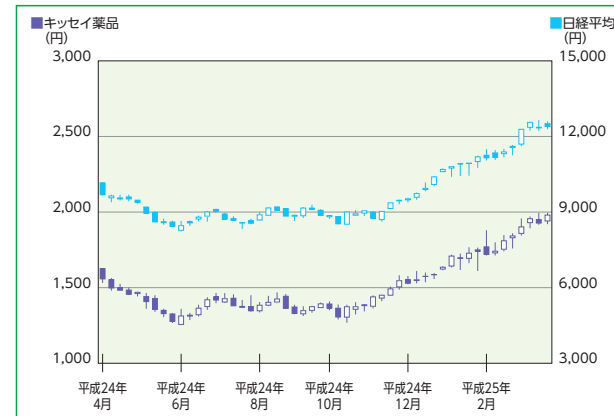
発行可能株式総数 227,000,000株  
 発行済株式の総数 56,911,185株  
 株主数 4,010名 (前期末比増減 66名増)

## ●大株主

株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	32,000百株	6.2%
有限会社カンザワ	31,782	6.2
神澤邦雄	27,030	5.3
株式会社八十二銀行	25,729	5.0
株式会社みずほ銀行	25,702	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,644	4.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,157	3.1
神澤陸雄	15,254	3.0
キッセイグループ従業員持株会	13,523	2.6
鍋林株式会社	12,223	2.4

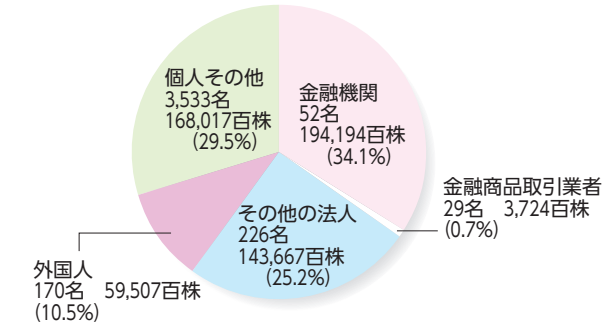
(注) 1. 当社は自己株式54,392百株を保有しておりますが、上記大株主には記載していません。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ●株価チャート

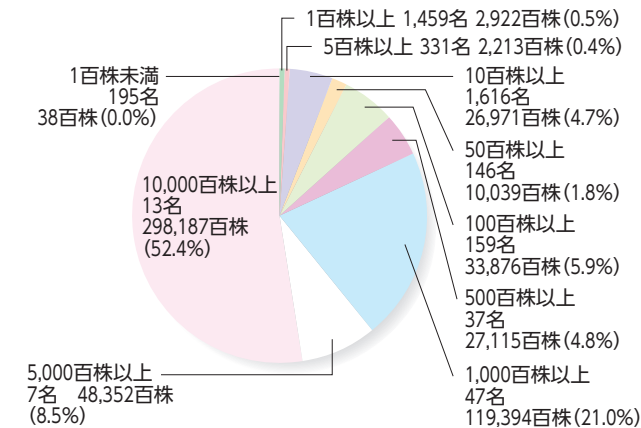


## ●所有者別分布

(平成25年3月31日現在)



## ●所有株数別分布



# 会社の概要

(平成25年3月31日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**  
 英文名称 **KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.**  
 設立 昭和21年8月9日  
 資本金 24,356,653,478円  
 主要な事業内容 医療用医薬品の製造販売  
 事業所 本社  
 長野県松本市芳野19番48号  
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710  
 東京本社  
 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号  
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022  
 東京本社 (小石川)  
 東京都文京区小石川三丁目1番3号  
 支店  
 札幌支店、仙台支店、関越支店 (さいたま市)、  
 東京支店、横浜支店、松本支店、  
 名古屋支店、京都支店、大阪支店、  
 高松支店、広島支店、福岡支店  
 (注)支店の下に44営業所を設置しております。  
 工場  
 松本工場、塩尻工場 (物流センター含む)  
 研究所  
 中央研究所・第二研究所・製剤研究所  
 (長野県安曇野市)  
 上越化学研究所 (新潟県上越市)  
 ヘルスケア事業センター (長野県塩尻市)  
 従業員数 1,552名

(平成25年6月27日現在)

役員  
 代表取締役社長 神澤陸雄  
 取締役副社長 味澤幸義  
 取締役副社長 降旗征一郎  
 専務取締役 赤羽増夫  
 常務取締役 佐藤公衛  
 常務取締役 柴田信男  
 常務取締役 両角正樹  
 取締役 伊佐治正幸  
 取締役 御子柴今雄  
 取締役 降旗喜男  
 取締役 浅川琢夫  
 取締役 福島敬二  
 取締役 橋本要人  
 取締役 竹花泰雄  
 取締役 米窪隼夫  
 取締役 足立寿喜夫  
 取締役 上野紘志  
 取締役 中川寛道

## ホームページのご案内

タイムリーな情報をホームページで提供しています。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

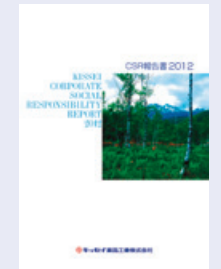
## アニュアルレポート

ホームページ (English Page) にも掲載しています。



## CSR報告書

環境やCSRの取り組みを「CSR報告書」としてまとめています。



資料請求のご連絡先 : 広報部 TEL : 0263-25-9523 (土・日・祝日、当社休日を除く月~金 8:40~17:20)